

## 令和7年度 第2回熊本県公私立高等学校連絡協議会議事概要

日時	令和7年11月10日（月） 14時00分～15時00分
場所	熊本県庁本館5階 審議会室
出席者	委員10名、事務局7名
議事の概要	以下のとおり

事務局	<p>(開会)</p> <p>(第2回協議会を開催する経緯について説明。概要是以下のとおり。)</p> <p>令和6年度に県教育委員会が設置した県立高等学校あり方検討会において、県立高校の今後の計画的な募集定員の見直しにあたっては、この「公私協」の場において十分な協議をするように、とされた。</p> <p>それを受け、令和7年6月に開催した今年度第1回協議会においては、あり方検討会での議論を踏まえ、教育委員会から、15歳人口の動態を勘案した上で、県立高校は計画的な学級減を実施するので、私立学校にも定員減の協力をお願いしたい旨の話があった。その際、委員の皆様から様々な御意見をいただき、協議を継続していくことになったところ。その後、私立学校との意見交換を経て、公私立高校の「令和9年度及び令和10年度熊本県公私立高等学校生徒募集定員計画について」の案がまとまったため、協議をお願いしたい。</p>
事務局	<p><b>協議（1）会議の公開・非公開について</b></p> <p>(本日の協議事項は、個別の学校の情報が明らかになることはないことから、「公開」としたい旨、説明。)</p> <p><u>協議（2）を「公開」とすることを決定。</u></p>
事務局	<p><b>協議（2）令和9年度（2027年度）及び令和10年度（2028年度）熊本県公私立高等学校生徒募集定員計画について</b></p> <p>(令和9年度及び令和10年度公立高等学校生徒募集定員案について説明。概要是以下のとおり。)</p> <p>○6月の第1回会議開催後に私立高校全校を県教委が個別に訪問。その中で、私立高校に関しても、県立高校同様に募集定員の削減に取り組んでいくことを検討いただきたい旨を依頼した。私立学校との意見交換の結果、私立高校の募集定員については、削減はないものの、現時点で令和9年度、10年度の募集定員を増やす計画はないことが確認できたため、予定通り令和9年度から県立高校の計画的な学級減に着手することとした。</p> <p>○令和9年度については、県全体で11,225人、令和8年度との比較では200人減とする方向で調整。（200人は、すべて県立高校の計画学級減に伴う減少。）通学区域ごとの内訳は、県央学区が160人</p>

	<p>の減、県北が40人の減、県南学区は変更なし。</p> <p>○令和10年度については、県全体で11,025人、令和9年度との比較では200人減とする方向。（200人は、すべて県立高校の計画学級減に伴う減少。）通学区域ごとの内訳は、県央学区が120人の減、県北が40人の減、県南が40人の減。</p> <p>○県立高校の募集定員計画については、来月の定例教育委員会で決定予定。</p>
事務局	<p>（令和9年度及び令和10年度私立高等学校生徒募集定員案、令和9年度公私協における協議事項について説明。説明の概要は以下のとおり。）</p> <p>○令和7年9月時点では、令和9、令和10年度に募集定員を増やす計画はないという結果であったことを、私立学校校長会で確認。私立高校の募集定員については、それぞれの学校法人がその時の情勢と経営状況により考えていく。</p> <p>○来年度の公私協においては、公私立の令和9年度の生徒募集定員案及び令和10年度、令和11年度の生徒募集定員計画を協議いただきたい。</p>
委 員	<p>委員からは、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 私立学校においては、増やす計画はないとの報告をいただいたが、併せて、定員をできる限り遵守していただきたい。</li> <li>② 来年度の公私協は、令和9、10年度に合わせて、11年度の募集定員計画を審議するということでしょうか。</li> </ul> <p>といった意見や質問があり、</p>
事務局	<p>事務局から、</p> <p>①定員は当然遵守いただくものであり、定員を超過した学校には遵守いただくよう指導していく。②来年度の公私協では、通常の翌年度分の募集定員に加え、10年度11年度の生徒募集計画について協議することを予定している、との説明があった。</p>
会 長	<p>さらに、会長から、</p> <p>学校関係者が定員管理の認識を持ち、学校関係者一同同じ思いで取り組んでいかなければならない、との意見があった。</p>
委 員	<p>また、委員からは、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>③ 定員にできるだけ近づくようデータを予測することは重々理解しており、引き続き努力したいと思っている。県立学校においても一部定員超過している学校があるので、定員遵守をお願いしたい。</li> </ul>

	<p>④ 来年度の公私協では、3年間先まで計画を協議するので、先を見据えた定員管理に取り組んでいきたい。 といった意見が出された。</p>
副会長	<p>続いて、副会長から、</p> <p>⑤ 文科大臣からタスクフォースを設置するとの発表があった。特に地方に行くほど、公立の役割が地域において非常に重要と思う。今回の高校無償化などもあいまって、公立にてこ入れをしていく趣旨と理解しているが、国から何か情報が来ていれば、御教示いただきたい。 と質問があった。</p>
事務局	<p>事務局から、 国からは正式な形での通知はあっていない、との説明があった。</p>
委 員	<p>続いて、委員から、</p> <p>⑥ 私立高校は、令和9年度と10年度について、それぞれの学校法人がその時の情勢と経営状況によって考えていくと記載されている。県立は、中学生の数が減っていくので全体的に学級減を進めしていく考えだが、私立学校では具体的にはどういったことを基準に募集定員を判断されるのか。 と質問があり、</p>
事務局	<p>事務局から、 私立学校においても少子化は踏まえておられる。ただ、少子化だけではなく、志願状況や経営状況を踏まえた上で、基本的にはそれで御判断をされる。定員の増減については、最終的には、私立学校審議会に諮問して、その答申に基づいて、認可を判断するという形になる、と説明があった。</p>
委 員	<p>続いて、委員から、</p> <p>⑦ 今後、県立はさらに定員を減らしていくが、全体の公立と私立の定員比については、公私協の協議内容となるのか。 と質問があり、</p>
事務局	<p>事務局から、 公私協では翌年度の募集定員を決めて、次の2年間の募集定員計画を出させていただく。公私協が収容定員についての協議の場となっている、と説明があった。</p>

委 員	<p>さらに、委員から、</p> <p>⑧ 県立では県内の中学生が募集対象だが、私学では、県内だけでなく、部活動などで県外への募集も行っている点で、公立とのターゲットの違いは多少あると思う。</p> <p>といった意見が出された。</p>
会 長	<p>これらの意見等に対し、会長から、</p> <p>県全体として、公立の定員減の計画が示されると、私立の比率が増えしていくことが予想される。県全体としての公私比率がどの程度が適当なのか、自然の原理にまかせていくのか、といったことをどこかで議論する必要性が出てくるだろう。熊本全体の教育という観点から、広い視野で議論していくことが大切、との意見があった。</p>
	<p><u>公立私立双方から提出された令和9年度及び令和10年度の熊本県公私立高等学校生徒募集定員計画と、来年度の協議会での協議事項について、了承。知事と県教育長に報告することを確認。</u></p>
事務局	<p>(今後の日程について。)</p> <p>・県立高等学校については、12月の定例教育委員会に議案として提出の上決定し、個別の学校の募集定員についても公表する予定。</p>